

## 自然共生サイト「知多半島グリーンベルト」内の 当社中新田緑地で植樹祭を実施

愛知製鋼株式会社（代表取締役社長：後藤尚英）は、6月26日、中新田緑地（愛知県東海市東海町6丁目）の整備工事の完成を記念して、東海市の花田市長を始め、日本福祉大学 学生の方々、地域の方々などを招いて植樹祭を開催しました。

当社は、2012年から「命をつなぐPROJECT<sup>※</sup>」に参画し、中新田緑地にて生物多様性保全に取り組んでいます。専門家の指導の下に緑地管理が行われている点や、社員や学生など多様な主体が参加するモニタリング、緑地整備を実施している点などが高く評価され、様々な賞、認証を取得してきました。

直近では、「生物多様性のための30by30アライアンス」、「経団連生物多様性宣言イニシアチブ」にも参加し、2030年ビジョンに定める「持続可能な地球環境への貢献」実現へと活動を推進中です。

今回開催した植樹祭では、整備工事で設置した東屋や遊歩道などをお披露目したことに加え、これまでの10年以上におよぶ中新田緑地での生物多様性保全活動の成果である約8000本の植樹をご覧いただき、日頃のご支援への感謝をお伝えしました。

その後、お集まりいただいた皆さまと協力して、新たに200本の苗木を植樹し、生物多様性保全ならびに自然共生の大切さを参加者全員に改めて体感していただくことができました。

今後、中新田緑地では地域の方向けにもご参加いただけるイベントの開催も検討していきます。

当社は今後とも、地域の皆様、従業員とご家族と連携し、様々な自然共生活動を通じて、地球環境保全活動を加速するとともに、これまでの培ってきたモノづくりと人づくりをさらに強化することで、弊社らしいサステナビリティを実現してまいります。

※知多半島生態系ネットワーク協議会による、愛知県の知多半島臨海部等に点在する企業緑地や公共緑地を繋ぐことによって、生物多様性の向上と生態系ネットワークの形成を目指すプロジェクト

